

ま さ き に あ な た へ

# ま(広)さ(報)き

[www.town.masaki.ehime.jp](http://www.town.masaki.ehime.jp) Public Relations

Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.



自ら潤いをつくる  
特集 「まさきスタイル」

特集

pick up

まさき町夏祭り

家族のきずな

藤谷朋宏さん 素三子さん  
拓甫さん 南優ちゃん 洋智くん

Boys & Girls,  
Be Ambitious!

新倉美桜ちゃん 村上菜々子ちゃん

9

September 2012  
No.430

# 「まさきスタイル」

自ら潤いをつくる

かつて松前の人々は、  
氾濫や渇水などに悩まされてきた  
そのたび、知恵と努力を結集し、  
幾多の困難を乗り越えてきた  
ここには古くから、  
水と共に生きてきた歴史がある  
水を生かしてきた風土がある  
生きるために、潤うために、  
一滴の水も無駄にしない暮らしこそ  
まさきスタイル  
豊かな水は豊かな心からつくられる



藤谷朋宏さん 素三子さん  
拓甫さん 南優ちゃん 洋智くん  
(西古泉)

### ◎ Profile

ふじたに・ともひろ 趣味は庭いじりと版画。山口県出身。43歳  
ふじたに・すみこ 好きな時間はティータイム。西古泉出身。42歳  
ふじたに・たくほ 趣味はサッカー、読書、ギター。サッカー部。中2  
ふじたに・なゆ 好きな教科は算数。テレビを見るのが好き。小6  
ふじたに・みち 好きな教科は体育。サッカーと遊びが好き。小3

## 家族のきずな

皆さんから友人知人の家族をリレーでつないで紹介するコーナーです。お誘いが来たらぜひ登場してくださいね。

西古泉に住む藤谷さん家族。父朋宏さん・母素三子さんともに仕事が忙しかったため、5人でゆっくり過ごす時間がなかなかありません。だからこそ、家族全員で過ごす時間を大切にしていると言います。

特に印象に残っていることは、2年前に5人でチャレンジした富士山登頂。素三子さんは「子どもたちが中学生になると部活などで忙しくなるだろうし、今がチャンスだと思って。家族で登ることができて感激しました」と話します。3人の子どもたちも「最高だった」とにっこり。きっかけは朋宏さん。「僕が小さいころ親に連れて行ってもらったことが印象に残っていて。子どもたちが生まれる前に夫婦で登ったことはあったけど、いつかは親子で行きたかった。この子たちも大きくなったらそうであってほしい」と笑顔で話します。

富士山登頂のときも普段の生活も、できないことを夫婦・親子・兄弟で自然にカバーし合う藤谷家。子どもたちの成長についてご両親は「とにかく健康で、何事にも努力を惜まず、兄弟三人で助け合っていてほしい」と話していました。

今回は、家族ぐるみでお付き合いをしている篠崎哲也さん家族をご紹介します。

## Contents

- 02 家族のきずな 藤谷朋宏さん・素三子さん・拓甫さん・南優ちゃん・洋智くん
- 03 特集 自ら潤いをつくる「まさきスタイル」
- 16 まさき町夏祭り
- 18 まつまえ・まさき姉妹都市ふれあい交流事業
- 20 Monthly Topics 被災地写真展 / 愛顔でトーク / 徳丸一座 / 防犯相談所長
- 22 まちのわだい 優良建設工事表彰 / ひまわりまつり / 火流しほか
- 24 News 勤労者融資 / 住基カード / ma★ma・ほっと会員募集 / 幼稚園児募集ほか
- 30 消防署だより
- 31 Information 町民俳句大会 / 多重債務者無料相談会 / 国税に関する相談ほか
- 32 公共施設からのお便り 図書館 / 包括支援 / 公民館
- 34 Smile & Smile 1歳です よろしくね / おうちで給食 / Boys & girls Be, Ambitious! 新倉美桜ちゃん・村上菜々子ちゃん / ふるさと歴史散歩
- 36 行ってこーわい 会ってこーわい げんキッズクラブ



### 表紙

8月2日、ひよこたん池公園周辺で、元気いっぱい咲くひまわりと笑顔に出会いました。

◎北伊予小5年の井口漱一朗くん、井口桃子ちゃん、尾山幹大くん、井口桜子ちゃん、垣生小5年の本田幸輝くん

●表紙の“Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.”はキャッチフレーズの「水きらめき 笑顔あふれる ライフタウン・まさき」です。

# 水が特産品

多くの人が豊かだという「松前の水」。そこにはどんな魅力があり、どんな可能性を秘めているのでしょうか。

松前町と言えば「水が豊か」だと言われます。特にここに暮らす人はそう感じているようで、平成22年に行われた「住環境に関する住民意識調査」では、「松前町の魅力を町外にアピールできる資源は？」の問いに、46.5パーセントの人が「豊かな水源」と答えました。松前の人々と水は、とても深く、強い関係にあり、水はまちの誇りなのです。

近年、日本人の「飲料水」に対する意識は高まっていて、生きるために飲むだけでなく、ダイエットやデトックス効果にまで期待を寄せています。日本人一人当たりのミネラルウォーター1使用量は10年前に比べ約3倍。内閣府の「水に関する世論調査」の飲み方を問う質問では、「浄水器を利用する」「市販のミネラルウォーターを利用する」と回答した人の割合が「水道水をそのまま飲用」する割合を上回っています。

井戸水を使用する家庭も多い松前町。あなたの家庭の「飲料水」事情はどうでしょう。

— 飲むより使う —  
日常生活の中では、飲用よりも家事、洗濯、お風呂、掃除などに使う水が圧倒的に多く、約9割を占めます。ところが、「飲用水」のように気を遣っている人はそれほど多くないのが現状です。

水は「硬水」「軟水」に分けられます。硬水は、カルシウムイオン、マグネシウムイオンなどの硬度成分が多い水。反対に少ない水が軟水です。日本の水のほとんどは軟水で、ヨーロッパは硬水です。軟水は、飲み心地が柔らかいので消化機能が弱い赤ちゃんや高齢者に優しいなどの特徴があります。一方硬水は、石鹸の泡立ちが悪かったり、石鹸カスができやすかったりして肌の違和感や水回りの汚れにつながるなどの特徴があります。普段何気なく使っている水ですが、こうした水の違いは、国や地域の歴史や文化の成り立ちにまで密接に関わっています。

また、節水の工夫はどうでしょう。日常的にしていますか。かつて湯水の危機に直面した松山市では、節水のため食器洗い乾燥機の使用を推進していました。そういう節水方法もあるのです。当たり前に使っている「生活水」。意識を変えようと深く付き合えるかもしれません。

松前町の魅力を町外にアピールできる資源「水」。  
全ての人の暮らしと密接に関わっている「水」。  
身近な水についてあらためて聞きました。

## 町民の皆さん、 「松前の水をどう思いますか？」



↑ 関谷奈菜さん 莉里ちゃん  
恵久美



→ 濱村志津子さん 亜実ちゃん  
宗意原



↓ 大政トシエさん  
中川原



↑ 弓立輝男さん 眞里子さん  
徳丸



← 鎌倉雅之さん 福岡賢一さん  
金野佑樹さん 穂積くん  
山本仁さん 谷岡達也さん  
神崎・鶴吉

↓ 沖亜矢さん 陽菜ちゃん  
南黒田



⇒ 大西信吾さん  
大間

↓ 宮田幸さん 蒼空くん 愛咲ちゃん  
筒井



← 浅山優太さん 山口賢人さん  
岡本龍輝さん 細川恭耶さん  
川井和也さん 川本藍良さん  
三好翔大さん  
松前中3年



↑ 星川廉さん 堀部万聖さん  
木村祐世さん 鎌田一慶さん  
大西洋志さん 藤野祐史さん  
篠原利輝さん  
松前中3年・2年

← 郷田龍輝くん 三好匠人くん  
大間

# ライフラインという責任

「松前の水をどう思いますか？」の問いに「浄水器要らず」「安いし、きれいし、安全だし、大満足」「おいしい」という声がありました。

私たちは松前の蛇口から出る水を信頼し、期待しています。ここでは、松前町の水道を紹介します。



主婦  
石井裕子さん  
(北黒田)  
Ishii Yuko

4年前まで町外に住んでいました。松前に来て、水道水のおいしさにびっくり。それまでは、塩素臭さが気になって水道水をそのまま飲むことは絶対なく、沸かして飲むかミネラルウォーターを買っていました。それに比べて松前の水は、臭みがないのでそのまま飲んでます。子どもにも安心して飲ませることができるのでうれしいです。



町上下水道課  
近藤俊彦 課長補佐  
Kondo Toshihiko

「蛇口をひねれば安全な水が出る」。当たり前のようにですが、これを維持するのは容易ではありません。上下水道課では毎日、全ての水源地を見回り、水質や水量を調べています。さらに月1回、蛇口の水を取り出して詳しく検査しています。「水が出ない」「濁っている」などと連絡があれば、24時間対応します。これからも、水道水を常時安全に供給できるよう努めています。

水なしでは5日も生きられない

人間の体はおよそ60パーセントが水分です。人間は、水と睡眠さえしつかりとつていれば、食べものがなくても2〜3週間は生きられると言われています。しかし、水を一滴も取らなければ、4〜5日で命を落とすてしまうこともあります。

全国的にミネラルウォーターを買う人が増えていますが、松前町民の多くは水道水をそのまま飲用しています。松前の水道水は、生きるために欠かせない命の源。文明が発達した現代では、文化的な生活を営むためにも多くの水を必要とし、その量は生命を維持するための水量をはるかに上回ります。こうした水を、みんなが安心して使用できるように、安定的に届けているのが「水道」です。

## 水道の誕生

水道ができるまでは、つるべと井戸や手押しポンプ井戸を利用していました。昭和26年、松前町に簡易水道が誕生。創設時の給水人口は1万1千人、1日最大給水量は1650m<sup>3</sup>で

## 大渴水でも断水を回避

町全体が、この伏流水の恩恵を再認識させられる出来事がありました。平成6年の大渴水です。7月の雨量は20・5ミリ、8月は12ミリ、9月になると水源地の水位は日増しに下がり、取水できなくなる水源地も。「このまま雨が降らなければ枯渴してしまう」と、断水を心配する日々が続きました。町は、水量を確保するため、他の水源地から給水するなどして、最悪の断水を免れました。

松山市や伊予市では時間給水を行いました。松前町は、7時間給水が続く伊予市の非常事態を受け、飲料水の救援を決定。水量に余裕のあった西古泉水源地から地下水をくみ上げ、自衛隊のトラックで1日150トンもの水を伊予市に届けました。

断水を切り抜け、救援水を送ることができたのは、重信川が育んだ、良質で豊富な地下水のおかげなのです。

## 環境の変化や災害に対応

地下水に頼っていた松前町の

した。しかし、人口が増え、水道を使う人が増えると、規模の大きい水道が必要になりました。そこで、上水道が造られ、水道管と水道管をつなぐ工事が進みました。昭和41年、南黒田・北黒田・塩屋地区の施設を一つの施設につなぐ工事が完了（西古泉水源地）。以来4回の拡張事業を行いました。現在の給水人口3万524人、1日最大給水量1万1430m<sup>3</sup>です。

## 100%地下水

松前町の水道水をおいしいと感じたり、おいしいという声を聞いたりしたことはありませんか。松前町の水道は、全て地下水を利用しています。水源は一級河川重信川の伏流水。町内8カ所の井戸からくみ上げています。

都市部では、河川から取水した水に大量の薬品を投入し、処理を重ねて飲料水を作っているところもあります。重信川の伏流水に恵まれた松前町は、不純物が自然のろ過作用で取り除かれるため、ミネラル成分を適度に含むおいしい水を提供できるのです。

水道水は、定期的な水質検査と必要最小限の塩素消毒（滅菌処理）をするだけで十分でした。しかし、近年、全国的には環境の変化によって塩素消毒では死滅しない原虫が水道水を汚染するという事例も報告されています。また、近い将来発生が予測されている東南海・南海地震にも対応した水道施設の整備が強く求められています。

そこで町は、平成14年度に第6次拡張事業計画を策定。町内を恵久美・徳丸・西古泉の3ブロックに分け、安全でおいしい水を安定的に届けられるよう、段階的な整備を進めてきました。

平成19年に完成した恵久美浄水場、現在建設中の北伊予浄水場は共に、塩素消毒では死滅しない原虫まで除去できる最新の「膜ろ過」方式を採用。水をためる「配水池」には、地震などによる断水を低減する緊急遮断弁を設置。恵久美浄水場は、2465トンの飲料水を蓄える能力があり、災害時には当該エリアで約2週間の応急給水が可能です。3ブロック全てが完成すれば、町全体で約3週間の応急給水が可能になります。

# 先人が生み出した偉大なシステム

「農業にかかせない大切な水」という農家の声がありました。人間に水が欠かせないように、農業にも水が欠かせません。作物を作ったり、家畜を育てたりする「農業用水」です。水が産業にどのように使われ、役に立っているのかを見てみます。



徳丸地区で米、ナス、白ネギを栽培する渡部幸男さん。「ナスやネギに比べ、米は水さえあればほっといてもできる」と笑顔で話します。とはいえ、稲作は水を入れたり、控えたりを繰り返す水管理が重要。水稲10アール当たり1500トンもの水が必要です。

渡部さんは「今となっては農業用水はあって当たり前。昔は水の確保に苦労したんです。地区の男たちが総出で、鍬で掘り、重信川から水を引いてね。大雨が降ると洪水でつぶれて、また掘るの繰り返し。これではいかんと、コンクリートの管を渡して水を取るようになったのは昭和3年のことです」

日本の水田は先祖が長年かけて生み出した偉大なシステム。先人の汗がしみこんだ肥沃な土地には人々の心が宿り、協調性や団結心が息づいています。

農家集落は、昔から水を大切に、管理は地区の共同責任で行ってきました。大川はもちろん、小川や井出（用水路）など、すみずみまで整備されていることが望まれ、今なお「井出掃除」と呼ばれる地区全員による清掃が続けられています。「機械化が進み、田んぼを耕すのは一人でもできるよ



農家 渡部幸男さん (徳丸) Watanabe Yukio 農業に欠かせない水の確保は、一人じゃできん。徳丸

丸は特に水の確保に苦労してきた。だから何をやるというても昔からまともだと思ってる。

「人類の歴史は、水との戦いだった」といえるほど、水をいかに上手く利用するかは昔から大きな課題でした。そのため、古くからたくさんの治水・利水のアイデアが生まれ、洪水を避けたり、農業ができたたりしたのです。

## 昔の伊予川

その昔、松前にはたびたび洪水を起こし人々を苦しめてきた川がありました。重信川です。

重信川は昔、伊予川と呼ばれていました。今から400年ほど前、正木城（松前城）の南には、城を攻めてくる敵から守るために伊予川が流れていました。しかし、戦が



足立重信 生年不詳 - 寛永2(1625)年

松山・加藤家の重臣。美濃国（現岐阜県）から来た。年少の頃から加藤嘉明に仕え、文禄4(1595)年、嘉明とともに正木城に移る。特に土木治水事業に精通し、伊予川（現重信川、足立重信の名にちなむ）や石手川の改修などを指揮した



今でもコンクリートで「鎌出し」をつくり、堤防を守っている（徳丸付近）

なくなると、大雨のたびに川の水があふれ、泥沼になってしまいました。そこで城主・加藤嘉明は、家臣の足立重信に伊予川の改修を命じました。

## 足立重信の工事

重信は、正木から横河原まで何度も歩いて調査しました。そして、内川の下流の川幅を広くして、伊予川を正木城の北へ流すことを考えついたのです。今の松山市森松から海に流れるまでの8キロに、新しい川を造るといふものでした。1597年に工事を開始。機械やコンクリートのない時代に、8キロもの長さの川を掘り、3

メートルもの高さの堤防を造ることは、大変な作業でした。洪水を防ぐ方法

水の流れが強いところでは、せつかく造った堤防が壊される心配があるため、重信は「鎌出し」という方法で水の勢いを弱めることにしました。川の両岸から直角に岩を組み、水の流れを川の真ん中へ追いやり、堤防に当たる水の衝撃を低減したのです。

また、わざと堤防を切っておき、大水が出たときは、湿地などの作物を作らない低地に水を流しました。そこから水が外へ流れ出ないようにも

# 暴れ川を恵みの川に変えた水の匠足立重信

松前町に豊かな伏流水をもたらし、町民の生活を、町の農業を支えている重信川。かつて伊予川と呼ばれ、豪雨のために氾濫を繰り返す「暴れ川」だった一。

う一つ堤防を造りました。これを「霞堤」といいます。今でも重信川には9カ所の霞堤があり、洪水を防ぐ役割を果たしています。

## 工事の結果

伊予川の付け替えで、湿地、石や砂の多い荒廃地も、耕作地になりました。松前だけでも100ヘクタール、伊予川が流れる全ての地域を合わせると、5000ヘクタールもの田が水利の恩恵を受けるようになったのです。人々は足立重信をたたえ「伊予川」を「重信川」と呼ぶようになりました。

重信の工事の後、洪水はたびたび起きました。その都度、それぞれの時代に生きた人々が、英知を集め、洪水を防ぐ工夫と努力をしてきました。

先人の知恵と努力の結晶で今に至る重信川。今後も恵みの水を運び続けます。

# まちなかの ホス。ピタリティー

「ひよこたん池公園は庭のような憩いの場所」という声がありました。水辺空間は、日常を松前で過ごす人にとっては憩いの場であり、松前に帰る人、松前を訪れる人にとっては癒しの場です。私たちのまちの水辺空間には、ホスピタリティー（おもてなし）が漂います。



ひよこたん池公園

お盆や祭りには、家族で帰省するという中川原出身の多賀透さん。松山市。「小さい頃はひよこたん泉や権助泉で友達と泳ぎました。泉に行けばみんなに会えた。泉には忘れられない思い出がいっぱいです」と懐かしそうに話します。

友達と歓声をあげてはしゃいだ水遊び、小川での魚とりなど、水辺にはさまざまな楽しい出来事があります。その情景は時折、故郷の思い出として蘇ることでしょう。水辺は、私たちの心に感動や郷愁を与えてくれるのです。

そんな水辺には、町内出身でなくとも、大勢の人が訪れています。憩えたり、遊べたり、水辺空間が今でも日常生活の中にある松前町。松前の人たちにとって生活の場である水辺は、松前を訪れる人にとって非日常空間。豊かな水辺空間で過ごすことは、心身の癒しにつながるのです。さらに、恵まれた自然が育んだ松前の人情は、訪れた人の心を癒す一番のサービスです。

松前の水辺空間には、里帰りした家族を迎えるような「ホスピタリティー」が漂います。

ふるさとの記憶として残る



松前公園子ども広場



中川原出身  
多賀透さん（松山市）  
Taga Toru

小さい頃、ひよこたん池で泳いだり、川で魚をとったりしていました。権助泉でもよく遊びました。水が冷たすぎて5分と泳いでいられなかったぐらい気持ちよかったです。そこは3~4メートルの深さがあって、飛び込むのが一番の楽しみでした。みんなの遊び場であり、交流の場でした。当時の仲間とは、今でも帰省するたびに会って、思い出話をしています。



大間の有明公園。盆には伝統行事として、川に浮かべた麦わらに火をつけ、祖霊を迎える迎え火、送り火が行われる

## 見る人に潤いとやすらぎをくれる

重信川をはじめ、国近川、大井手川など多くの河川が流れ、水辺空間に恵まれた松前町。これらの水は、古くから生活用水、農業用水、工業用水として人々の暮らしを支え、松前町の歴史を築いてきました。

近年、全国各地で、流れの途絶えた水路などに清流を復活させたり、人工のせせらぎを作ったりすることで、潤い、安らぎ、憩い、遊びの空間が作られています。これは生活環境へのニーズが高まって、水に親しむ（親水）観点から、河川や水路などの水辺空間が重要視されているからです。

松前町でも、この豊かな水辺空間を安全に利用できる親水公園を整備しています。

自然湧水を生かした中川原地区の「ひよこたん池公園」、大間地区を流れる国近川沿いの「有明公園」、神崎・鶴吉地区の「福徳泉公園」などの親水公園は、やすらぎや憩いの場となっており、多くの町民に潤いをもたらしています。

「生きるために」はもちろん、暮らしに潤いをもたらす水は、私たちにとって、まちにとって、大切な「宝」です。

# 一人一人が「水スタイリスト」

これまで見てきたように、松前の水環境はとても恵まれています。一方で、忘れてはいないでしょうか。水は私たちだけのものではないこと、限りなくあるものではないことを。次の3人は、それぞれの体験から感じ、行動している、言わば「水スタイリスト」です。今日からあなたも、あなた流の水スタイリストです。

昔に比べると明らかに水辺の生き物は減っている。水辺と私たちの密着度を高めれば変化に敏感になれる。



町内の自然観察会で講師を務めた農学博士 矢野 和之さん（滋賀県在住）

小学生の頃は松山に住んでいました。松山にはタナゴがいなかったので、わざわざ松前町のひよこたん泉や国近川へ採りに行きました。他にも、ナマズ、オイカワ、カマツカなどがたくさんいました。そんな松前町でも、昔に比べると明らかに水辺の生き物は減っています。

ひよこたん泉は公園としてきれいに整備されました。河川や排水路は護岸整備され、植物や河床の土が取り払われました。蛙や用水路はどこもコンクリート張りになり、水田と排水路の落差は大きくなりました。

ホタルやカエルなど水陸両方で生活する種は、水陸間の移行帯（エコトーン）が重要です。さまざまな植物が生え、外敵から身を守るのに好都合でした。泉周辺には今も植物が生えていますが、そのほとんどが外来種。動物もそう。ミドリガメやジャンボタニシなど、水辺の生態系は外来種に乗っ取られつつあります。フナやメダカなどの魚類は、田植えとともに水田内まで遡上して産卵します。成長した稚魚は落水とともに排水路へ戻るのですが、水田と排水路の落差拡大で産卵期に親魚が遡上できなくなっています。こうしたさまざまな要因によって水辺の環境は変化し、生態系に大きな影響を与えています。いずれの要因も人間の生活様式の変化や利便性の追求が根底にあることを忘れてはいけません。

皆さんはきれいに整備された今のひよこたん泉などを見てどう思いますか？ 私はいいなと思う反面、違和感も感じます。人にとっては便利で安心できる場所かもしれませんが、生物にとっては決して住みやすい環境ではないと思うのです。だから前述のような問題が起こっている。でも悲観しないでください。町内で姿を消したと思われるトノサマガエルのような種もいますが、タナゴ、シマドジョウ、ナマズなどの魚類、カエルやトンボなどまだまだ多くの種が生息しています。今残っている生き物たちは松前町の財産です。その財産を未来につなぐため、残っている生態系を保全し少しずつ回復させていくことが重要です。保全というのは貴重だから立ち入り禁止にすることではありません。むしろどろんどろん水の中に入って魚やトンボを捕まえてください。水辺と私たちの生活の密着度が高いほど、水や水辺の環境の変化に敏感になれるはずですよ。

私は4月から滋賀県に住んでいます。滋賀県では排水路を嵩上げし、水田で産卵する魚類が遡上できるようにする「魚のゆりかご水田プロジェクト」が行われています。農家にしたら生産プラスαの労働だし、農業や肥料の使用にも気を使うので管理に手間がかかります。しかし、生産されたお米は魚が育つ水田でとれた安心できるお米として付加価値がつくのです。

松前町の水辺環境を守るためには、町民一人一人の意識が重要です。いつも美しい水辺環境が日常の中にある。それが理想ではないでしょうか。



水は私たちだけのものではありません。それは、町民だけのものではないし、日本人だけのものでも、人間だけのものでもないということですよ。水は、地球のあらゆる生物が生きていくために、なくてはならないものです。水が利用不可能になるということは死を意味します。

世界ではおよそ11億人が、安全な飲み水が手に入らない地域で暮らしています。そのため、幼い子どもたちが次々に病気になるっています。こうした国に上下水道や衛生設備を整備することは、日本も協力していますし、企業が先進的な水道サービスを提供する動きもあります。

停電と断水が日常茶飯事のジンバブエ。大切な水、流しっぱなしなんて今は怖くてできない。

私は青年海外協力隊員としてアフリカのジンバブエとウガンダで活動しました。ジンバブエもウガンダも、水道と電気が整備されていましたが、実情はとんでもない状況でした。

ジンバブエでは、停電と断水が日常的に起こりました。停電は何かやりくりしましたが、断水は大変でした。数時間の断水なら水が出る時間に料理、洗濯、洗顔、水浴びなどを済ませることができず、何日も続くのです。日常生活はもとより、衛生上の問題も出てきます。水道の蛇口はあるのに、ひねると無情にも「キュッ、キュッ」と虚しい音が響くだけ。

私は器、ペットボトル、バケツといった容器に水が出る時に満杯に貯め、雨水さえも利用しました。激しいスコールのときは、あらゆる容器に水はすぐ一杯にたまるし、身一つで外に出れば天然シャワーです。そういう生活を送る中で、日常生活での水の消費量がとても多いことに気がきました。

ウガンダでも、ライフラインに影響を与える程ではありませんでしたが、停電と断水はしょっちゅうでした。ジンバブエでの生活を経験したおかげで、一日くらの断水は気になりませんでした。

青年海外協力隊の経験から何か変化したことはありますか？ とよく聞かれます。一番の行動の変化は、水を大切に使うようになったことです。手洗い、歯磨き、食器洗いをする時は、以前は蛇口をひねったまま水を流しっぱなしにしていたが、今は怖くてできません。こうした行動は最低限の水圧で事足りることが分かったので実践しています。お風呂の残り湯も洗濯、掃除に使って有効利用しています。

傍からみるとセコイと思われるかもしれませんが、身に付いたこの習慣を誇りに思います。



聖学校の生徒が数少ない水道から水を確保（ジンバブエ）

青年海外協力隊で言語聴覚士としてアフリカへ林 謙太郎さん（松前病院勤務）

しかし、一人が何百リットルもの水を1日で浪費する現在の先進国の水の利用形態は、本当に持続可能なのでしょうか。今の先進国で行われているような水の利用を、世界の全ての人がすることは不可能です。地球は水の惑星というもの、水には限りがあります。そして重要なのは、私たちが利用できるのは、きれいな水だけだということです。

「水はかぎられたもの」なんて感じたことはなかった。一滴の水も大切に「日本丸家族」にしたい。

日本丸を一目見ようと南予ヘドライブに出かけた。私は、航海士さんに質問した。

「航海する上で最も大切なことは何ですか？」

「見はりや水です。」

「何カ月も航海する上で大量に必要な水はどうしてるんですか？」

「船にあるタンクに水を入れていて、少なくなると寄港して水を補充しています」

「かぎられた水で過ごすなんて大変ですよ。もちろんむだ使いなんて出来ないし毎日が戦いですね」

航海士さんは笑顔で答えてくれた。しかし、その内容は理解しがたいものだった。私の住む松前町は地下水が豊富なため、「水はかぎられたもの」なんて一度も感じたことはない。はられている「節水」のシールも大切なものだと意識したことはない。シャワーでお湯を出しっぱなし。手を洗う時も、うがいをする時も…。船上の生活で食べ物がなくなったら魚などで代用できる。しかし、飲料水は海水でも雨水でも代用できない。だから水をむだ使した人はヤシの実を使った甲板そうじの罰がかせられるそうだ。一日一日が水との戦い。航海士さんとの会話で知った事実を通し、一滴でも貴重な水を無駄にはできないと強く感じられた。



そんな水のありがたさについて家族で話していると、母と祖母が話をしてくれた。私が生まれる前にすごいかっ水の時があったそうだ。水を使える時間が限られているため、トイレは流せずお風呂にも入れない。給食はパンと牛乳のみだったそうだ。私は思わず息をのんでしまった。

「水のありがたさ」「水の貴重さ」「水の大切さ」を知り、今までむだ使いしてきた水を取り返すぐらいの気持ちで節水に取り組みなべと感じた。例えば、シャワーの一回十秒ルールや顔を洗う水は洗面器にくむ。妹や弟にも私が感じたことを話し、意識あって節水を心がけていきたい。まず、今から「水を大切に」のポスターを蛇口の横にはろう。そして月に何回か家族で水の使い方について見直し、話し合おう。「一滴の水も大切に」をモットーにこの家を船だと思い、限られた貴重な水を大切に使う「日本丸家族」にしていきたい。

平成24年度「全日本中学生水の作文コンクール愛媛大会」奨励賞 渡邊 りおさん（岡田中学校1年）

これから生まれてくるものたちのために、私たちは水の使い方を考えなければなりません。矢野さんは、生物から水との関わり方を考えました。林さんは、海外での生活から行動を見直しました。渡邊さんも、日本丸からこれまでの考え方の違いに気付き、意識を変えました。三者三様の水スタイリスト。あなたはあなた流の水スタイリストになれるはずですよ。

# 水から学び、 自らつくる新しい流れ

時の流れを映してきた重信川。住む人々に自然の偉大さと優しさを教えてくれました。命や文化を育み、まちの発展を支えてくれました。その流れは松前の歴史にも似て、今も滔々（たうたう）と流れます。

松前町は水に恵まれています。しかし、世界に目を向けると、深刻な水不足が懸念されています。

松前町において、水は広く利用され、潤いとやすらぎを与えてくれる存在として、守り親しまれてきました。松前町には、水と共に生きてきた歴史があります。これからもずっとそうでありたいと願ってやみません。

限りある資源を絶やすことなく使い続けていくには、私たちの今の取り組みから始まります。

方法はたくさんあります。まずは、「湯水のごとく使う」習慣を改めて、ほんの少しでも水を大切にすることが、ここから始めましょう。決して難しいことはありません。

節水とは、水を大切に、していいねいに暮らすこと。暮らしを豊かにすることです。

このまちに暮らす私たちだからこそ、しっかりと「水」の価値を知り、水を誇りに思い、大切にしていきたいと思います。

それこそが、暮らしにさらに潤いをもたらす「まさきスタイル」。

重信がつくった流れをベースに、もっと豊かな流れをつくるのは私たち自身。明日の当たり前は、今日の行動によって守られるのです。



# まさき町 夏祭り



8月4日、夏祭り当日。  
最高気温35度を超す猛暑日  
の中、3万人が訪れた。  
朝の塩屋海岸。太陽が照りつ  
ける海で、選手は懸命にはんぎ  
りを動かし、「一秒でも早くゴール  
するため、手を伸ばす。力尽き  
そうになっても、背中に届く応  
援の力で、もう少しだけ頑張れ  
る。  
夕暮れの松前公園。この日の  
ために練習してきた金管バンド  
や伊予万歳。力杯の演技に、観  
客の拍手が舞う。  
ライトアップされた公園。軽  
快な音楽と力強い太鼓が、まさ  
き音頭の始まりの合図だ。老い  
も若きも、みんなが輪になって  
踊る。汗はキラキラと輝き、笑顔  
は自然とこぼれる。祭りの熱気  
は最高潮を迎える。もう天気が  
暑いのか、それとも祭りが熱い  
のか分からない。ただ、こう思っ  
つ。  
夏祭りはこつでなくちゃ!



12



13



11



10



8



9

8. 餅・福まき。「こっちも投げー」 9. 夕日と共に輝く金管バンド 10. 衣装、踊り、そして笑顔が揃う 11. 一心不乱にパチを振る 12. 最高の仲間たちと共に 13. フィナーレは約1,000発の花火 14. 「みんな踊ろうよ 輪になって なもしまさきはよいところ」



14



1. 掴め、ゴールを 2. スタート前。腕に自然と力が入る 3. ゴーグルを投げてダッシュ 4. 笑顔で仲間を応援 5. 天高く突き上げるガッツポーズ 6. 笑顔はじける勝者インタビュー 7. 宝探し。「この貝殻は僕のもの」



- はんぎり競漕の結果
- 子ども男子の部
- 1位 光保元樹 (松前小)
  - 2位 大西由多 (岡田小)
  - 3位 鳥津海 (松前小)
- 子ども女子の部
- 1位 渡邊優華 (松前小)
  - 2位 畔地七海 (松前小)
  - 3位 河内裕里 (松前小)
- 一般男子の部
- 1位 相原俊二 (松前町役場)
  - 2位 久保貴章 (テイサービスみどり)
  - 3位 西畑佳樹 (松前町役場)
- 一般女子の部
- 1位 日山結稀 (たまゆら)
  - 2位 東砂江 (たまゆら)
  - 3位 武田和美 (たまゆら)
- 団体戦
- 1位 チーム「まじ」
  - 2位 松前消防署B
  - 3位 はんぎり皇子
- はんぎりトライアスロン
- 男子
- 1位 和田賢二 (松前消防署)
  - 2位 曾我部周 (松前中)
  - 3位 中岡祐紀 (北伊予小教職員)
- 女子
- 1位 東砂江 (たまゆら)
  - 2位 日山結稀 (たまゆら)
  - 3位 三好夏子 (はなゆみ)
- まさき音頭の結果
- 優勝 北伊予中学校PTA
- 準優勝 松前町児童館ケンキッズ
- 3位 松前小学校PTA
- 殊勲賞 保育所
- 敢闘賞 北伊予小学校PTA
- 仮装賞
- 1位 パンダ (松前小学校PTA)
  - 2位 消防団 (北伊予小学校PTA)
  - 3位 お化け (松前町児童館ケンキッズ)

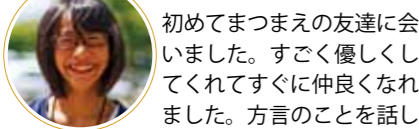
# 愛媛から北海道まつまえ町へ 1500キロを超えた友情



## 1 日目 「北海道 ドキドキワクワク 上陸だー!」

坂本菫ちゃん作(松前小6年) 飛行機3時間。バス移動2時間。移動が多くて大変だったけど、待ちに待った北海道! 子どもたちは元気いっぱいです。

### ▶函館の五稜郭公園で初対面



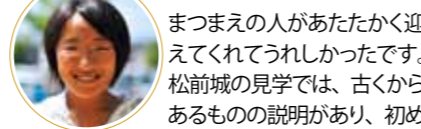
田島海彩ちゃん 松前小6年

### ▶まつまえ町役場で訪問挨拶



函館で出迎えてもらった後、一同はまつまえ町へ。役場で訪問の挨拶をしました。副町長は「北海道と愛媛の違いを楽しみ感じながら、仲良く交流してください」と歓迎してくれました。

### ▶まつまえ城見学



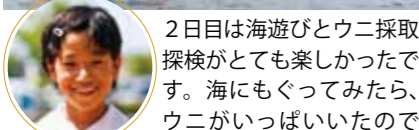
吉見知夏ちゃん 岡田小6年

まつまえの人があたたかく迎えてくれてうれしかったです。松前城の見学では、古くからあるものの説明があり、初めて見るものばかりでした。

## 2 日目 「大海原 ウニを求めて 1時間」

穴吹颯斗くん作(北伊予小6年) 特にさまざまな体験やイベントが準備されていた2日目。朝10時。原口海岸での海遊び・ウニ採り体験からスタート!

### ▶原口海岸で海遊び、ウニ採り体験



山本 栞ちゃん 北伊予小6年



弓達翠月ちゃん 岡田小6年



海遊びでは、砂風呂に入って暖をとりました。初めての体験がたくさんできた貴重な1日になりました。

### ▶松前漬け作り体験



松前漬け作りに挑戦! できた漬物は各自お土産として持ち帰りました。

### ▶松前港市場で海鮮バーベキュー



ホタテ、エビ、サザエなど新鮮な海の幸がいっぱい。贅沢にいただきました。



高橋風奈ちゃん 岡田小6年

2日目はまつまえの文化に1番ふれられた1日だったと思います。いろいろな体験を通じて、まつまえの友達と仲良くなりました。

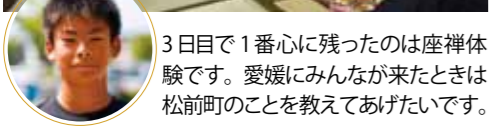


まつまえ町の皆さんがプレゼントしてくれた記念Tシャツ。ピンクがまつまえ、黄色がまさき。

## 3 日目 「友達と手を振り返す 夏の空」

吉見知夏ちゃん作(岡田小6年) 北海道最後の日。悲しいけれど、たくさんの思い出ができました。

### ▶法幢寺での座禅体験



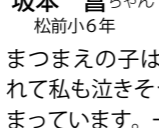
和泉 颯くん 松前小6年

3日目で1番心に残ったのは座禅体験です。愛媛にみんなが来たときは松前町のことを教えてあげたいです。

### ▶見送られてお別れ



お別れが悲しかったです。3日間精一杯楽しませてくれました。12月にまつまえ町の人々が来たときには、おもいきり楽しませたいです。



坂本 菫ちゃん 松前小6年



穴吹颯斗くん 北伊予小6年



阪井洋介くん 松前小6年

甲冑着付け体験はとても暑くて重かったけど、あまりできない体験ができたので心に残っています。



1\_2日目、松前藩屋敷で甲冑着付け体験。決めポーズで集合写真 2\_武士になりきって 3\_駕籠(かご)に乗りました 4\_屋敷では木べら作りにも挑戦

本町と北海道松前(まつまえ)町は、南国と北国という異なる風土の中で、城下町としての歴史と町名が同じ縁から、平成2年11月2日、姉妹都市提携を結びました。以来、人の交流や物産交流などを続けながら友好を深めています。本年度も、まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業が行われます。そのスタートとして、7月26日から28日までの3日間、町内の小学生9人が北海道最南端に位置するまつまえ町を訪問しました。子どもたちは、海遊び、甲冑着付け体験、松前漬けづくり体験などを通して、まつまえ町の特徴である豊富な海の幸や、松前藩の城下町として栄えた歴史・文化を堪能しました。「見る」

「学ぶ」「遊ぶ」「食べる」、何もかもが感動の連続で、生涯忘れられない思い出になったようです。多彩なメニューを通じてまつまえ町の生活や文化を肌で感じ、まつまえ町の小学生と親睦を深めた9人。12月にはまつまえ町の子どもたちがやってきます。今度は、「愛媛ならではの体験をしてみたい」「まさきらしいおもてなしで迎えたい」と、準備を進めています。





### 虫干祭で熱演 徳丸一座第17回公演

徳丸一座(八城秀樹座長、35人)の第17回公演は8月2日、高忍日賣神社に設けられた特設舞台で行われ、大型時代劇「名月赤城山」全三幕を上演、会場を埋めた観衆から、拍手喝采を浴びました。

この日のために約2カ月の練習を重ねてきた座員たち。キャストはプロ顔負けの熱演をし、音響、照明などを担当するスタッフは芝居に合わせて舞台を彩り、観衆を魅了しました。

芝居終了後、主役の「板割の浅太郎」役を務めた弓立計太さんは「キャスト、スタッフ、地域の皆さんに支えられて、なんとか演じ切ることができました。徳丸一座をこれからも温かい心で見守ってください」と感謝し、充実感に満ちた表情を見せていました。



①芝居の終盤。観衆を魅了 ②主役の板割の浅太郎 ③本格的な手作り舞台で熱演 ④挨拶する座員



### 地域防犯に活躍します 松前町防犯相談所長

松前町防犯相談所長委嘱式は7月19日、松前町庁舎で行われました。防犯相談所長は、伊予警察署と松前町防犯協会の連名で委嘱されたボランティアとして、地域の安全安心を確保します。任期は24年7月1日から26年6月30日まで。

式では、代表の3人に富田雅重伊予警察署長から防犯相談所長委嘱状が手渡され、白石勝也松前町防犯協会長が「犯罪のない、明るく住みよいまちづくりに力を貸してほしい」と挨拶を述べました。

地区名	氏名	住所	電話
南黒田	島田 昌則	南黒田 525	985-1266
北黒田	井上 正男	北黒田 527-4	984-5075
〃	武本 高尚	北黒田 400-5	984-8152
〃	頼藤 哲也	北黒田 642-6	985-0230
〃	山内 慎治	北黒田 635	984-3248
宗意原	◎眞鍋 好	筒井 1264-3	985-1561
〃	兼岡 伸次	浜 922-4	984-5203
新立	鶴田 清	浜 490-1	984-4152
〃	稲田 健	筒井 541-10	984-3147
本村	中島 保榮	浜 297	984-0659
筒井	常盤 勝利	筒井 258	985-1130
〃	宮本 賢二	筒井 454-19	984-9081
〃	鮎矢 貞一	筒井 247	984-8020
社宅	高尾 大介	筒井 1455	984-7626
徳丸	谷口 圭祐	徳丸 128-8	984-0047
中川原	加藤 賢司	中川原 970-2	985-0438

◎は支部長

地区名	氏名	住所	電話
出作	泉本 秀信	出作 595-4	989-3177
神崎	高石 勤	神崎 308-5	984-5992
鶴吉	大政 邦和	鶴吉 590-1	985-1371
横田	◎徳本 直之	横田 654-3	984-2118
大溝	栗原 傳	大溝 209-2	984-1759
永田	門田 耕三	永田 194-4	985-3456
東古泉	三好 安雄	東古泉 250-3	984-4162
大間	叶田 弘一	大間 510-2	985-1801
上高柳	◎杉 正信	上高柳 211-2	984-0053
恵久美	大西 淳弘	恵久美 521	984-1253
昌農内	木戸三千年	昌農内 379-1	984-2216
西高柳	榎岡 幹郎	西高柳 329-6	985-1947
西古泉	岡見 輝彦	西古泉 584-5	984-1659
〃	大政 久男	西古泉 187	985-1908
北川原	茂川 明和	北川原 72-1	984-1951
塩屋	戒田 一久	北川原 1471	984-2201



### 被災前後の写真など紹介 「東北の“大津波”空から見た被災地」写真展

東日本大震災の被災地を空から撮影した写真展が8月2日から5日まで、松前総合文化センターで開催されました。この写真展は、被災地の復興に取り組む東北建設協会と松前町などが防災意識を高めてもらおうと開いたもので、会場には、津波被害を受ける前と後の被災地3県の港や住宅街の様子などを撮影した約80枚の写真が展示されました。

岩手県陸前高田市の写真では、松林の名勝「高田松原」が消失しているのがくっきりと分かるなど、訪れた人は被害の甚大さについて理解を深めていました。

関連イベントとして、5日には講演会があり、石巻市役所雄勝総合支所次長の千葉茂さんが被災地の状況について話しました。千葉さんは「東北の大津波を語り継ぐ」と題し、スライドを使って分かりやすく講演。「風化させないためには、学校での防災教育の充実、住民の組織化・訓練、企業での対応が重要だと思う」とアドバイス。参加者はメモを取るなどして熱心に聞き入っていました。

夫婦で参加した村上正信さんは「想定を過信せず、より早く、より高く逃げるにつきと感じた。今の社会では難しいかもしれないが、町内会など組織での意識づけが重要だと思う」と話していました。



④写真展には子どもから高齢者まで大勢の人が訪れました。被災前後の写真を上下に並べて展示 ⑤上が被災前の陸前高田市高田松原。下が被災後 ⑥5日の講演会の様子



⑦(株)龍宮堂で珍味の工場を見学する知事 ⑧庁舎で開かれた意見交換 ⑨(株)ジェイプラント大間農場では「ひげにんにく」の栽培方法を視察

### 松前で知事が住民と意見交換 知事とみんなの愛顔でトーク

地域の意見や要望を県政に反映させようと、中村時広知事が直接出向いて、現地視察などを交えながら住民と意見交換する「知事とみんなの愛顔(えがお)でトーク」が7月29日、松前町で開かれました。

現地視察では、ギノミソ(株)、(株)ジェイプラント大間農場、(株)龍宮堂、愛媛県警察学校、(株)世起、大和エンジニアリング(株)を訪問。知事は「こうした地域の高い技術力に県が目目してアピールできるようにしたい」と話していました。

視察後、松前町庁舎で行われた集会では、松山、伊予、松前の3市町の農林水産業やまちづくり活動に携わる住民17人と意見交換。県産品のPR方法や担い手不足・鳥獣被害といった農業が抱える不安への対策などを話し合いました。





▼8月12日  
ひめぎん女子卓球部員に学ぶ



障がい者の卓球団体「EC愛媛チャリティー」主催の卓球交流大会は、松前公園で開かれ、障がい者と健常者が親交を深めました。大会には小学生から高齢者まで137人が参加。障がい者・中高生・一般の部門別に競い合いました。また、ひめぎん女子卓球部による講習会も行われ、全国の大舞台で活躍する部員のダブルスの動きや効果的なサーブ・シーブ方法などに、熱心に見入っていました。

▼8月3日  
前夜祭にのど自慢大集合



まさき町夏祭りの前夜祭「カラオケの夕べ」は、松前総合文化センターで開催され、町内の歌自慢たちが多数参加しました。ライトアップされたステージでは、歌に踊りにと趣向を凝らしたカラオケが披露され、観客たちは歓声と拍手でそのパフォーマンスをたたえていました。大きな盛り上がりを見せた前夜祭。その熱気と興奮は、そのまま夏祭り本番の大成功へとつながるものでした。

▼7月25日  
(有)一貴産業が優良建設工事表彰を受賞



松前町は、建設工事の技術の向上と適切な施工を確保する事を目的に、町が発注した建設工事のうち、特に他の模範となる優秀な工事を表彰しています。本年度は、次の工事が優良建設工事に選ばれ、白石勝也町長から表彰状が授与されました。  
【工事名】 町道東4号線道路改良工事  
【施工業者】 有限会社 一貴産業(金山元重 代表取締役)

▼7月18日  
3園の子どもたちが海遊びを満喫



黒田保育所、白鶴保育所、宗意原保育所の「海遊び交流会」は、北黒田海岸で行われ、各園の5歳児36人が、海で元気に遊びました。海に行くことを心待ちにしていた子どもたちは、砂浜で貝殻を拾ったり、海に入って泳いだりして大はしゃぎ。他園のお友達と触れ合いながら、夏の海を満喫していました。

▼8月14日・15日  
川面に揺れる迎え火・送り火



有明公園で、大間地区の伝統行事「火流し」が行われました。14日、日が沈んで辺りが薄暗くなると、男の子たちが川の中へ入りました。板に乗せたわらに火がつけられ、公園全体が幻想的な雰囲気。訪れた人たちは、子どもたちの手で下流へと運ばれる火を眺めて故人を迎えました。15日は同じようにして送り火を焚いて、故人を送りました。

▼8月4日-7日  
全国大会出場



松山工業高等学校の男子ソフトボール部(土居優人さん=筒井=、西岡恭佑さん=筒井=、横江純太郎さん=鶴吉=、天野凜樹さん=宗意原=、鎌倉涼太郎さん=神崎=、小池紳之助さん=筒井=)は、県大会で2連覇し、富山市で開かれた全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会に出場しました。初戦敗退となりましたが、遠征や練習を重ねた日々の努力を発揮し、一丸となって戦い抜きました。

▼7月29日  
満開のひまわりがお出迎え



中川原の恒例行事「ひまわりまつり」は、ひよこたん池公園周辺で開かれました。強い日差しが照りつける中、大勢の家族連れらが訪れ、夏空に映える大輪の花を楽しみながら散策。写生大会や演芸披露も行われ、終日にぎわいました。写生大会では、子どもたちはお気に入りの場所に腰を下ろし、太陽に向かって力強く咲く花をじっくりと観察しながら、絵の具やクレヨンで色鮮やかに仕上げっていました。

▼7月20日  
東レが塩屋海岸などをきれいに



東レ(株)愛媛工場は、工場周辺や塩屋海岸など6カ所の清掃を行いました。この取り組みは、同社が取り組む社会貢献活動の一つで、定期的に行われているもの。この日は、米村伸哉工場長ら約450人が参加。塩屋海岸では、海岸に打ち上げられたごみや道路から投げ捨てられたごみを丁寧に拾い集めました。米村工場長は「東レ社員だけでなく、関係会社も自主的に参加してくれている。これからも続けたい」と話していました。

### 退職（失業）時の特例免除制度

厚生年金に加入していた人が退職（失業）すると、役場で国民年金の加入手続きを行い、月額14980円（平成24年度の金額）の保険料を納めることとなります。ただし、保険料の納付が経済的に困難な人には、申請すれば免除される制度があります。通常、免除されるには、申請者本人・配偶者・世帯主が所得基準の範囲内である必要があります。

が、特例免除（雇用保険受給資格者証や離職票などの添付が必要）では、退職者の所得を除外します。 ※24年7月以降の申請が対象です。 ※学生で納付が困難な人は、学生納付特例制度をご利用ください。 ④松山西年金事務所国民年金課 町民課住民係 ☎985-5175 ☎985-4106

### 松前町勤労者融資（教育・住宅）

町は、労働金庫との提携で、基準金利より低い利率による教育・住宅資金の融資を行っています。

- 勤労者教育資金
  - 教育資金特別金利キャンペーン
    - 平成25年3月29日（金）まで
  - ▼融資額 200万円以内（1世帯あたり）
  - ▼利率 年1.55%
  - ▼金利方式 固定金利
  - ▼返済期間 15年以内（元金据置4年6カ月以内）
  - ▼返済方法 毎月返済か毎月・ボーナス併用返済（元利均等返済）

- 勤労者住宅資金
  - ▼融資額 2000万円以内（1世帯あたり）
  - ▼利率 当初3年：年0.80%、当初5年：年1.40%、当初10年：年1.55%
  - ▼金利方式 固定金利選択型
  - ▼返済期間 35年以内
  - ▼返済方法 教育資金と同じ ※どちらの融資も利率は8月1日現在。別途、保証料が必要です。
  - ④四国労働金庫愛媛ローンセンター ☎948-1120

### 平成25・26年度入札参加資格申請

25・26年度に町が発注する建設工事、測量・建設コンサルタント等、業務委託、物品等の入札への参加資格審査の申請受け付けは、24年11月～12月ごろを予定しています。時期が近づいたら、財政課窓口、ホームページなどに詳細を掲示します。

※経営事項審査の新基準が施行されたことに伴い、今回は新基準で審査を行います。旧基準の取り扱いについては、ホームページに掲載していますので確認してください。 ④財政課入札検査係 ☎985-4157

### 9月10日は下水道の日

#### ①「下水道の日」の由来

下水道の普及を図るため、昭和36年に「全国下水道促進デー」として始まり、平成13年には「下水道の日」に変更されました。下水道の役割の一つが浸水対策であることから、台風シーズンのこの時期が選ばれました。

#### ②松前町の下水道

平成14年度から利用できるようになり、現在、筒井・浜・南黒田・北黒田・西古泉の一部地区で利用されています。今後も下水道の整備を進めていきます。

#### ③下水道の役割

①さわやかな生活 くみ取り便所

が水洗便所になり、衛生的で快適な生活ができるようになります。

②街がきれいに 汚いドブや溝がなくなるので、悪臭や蚊・ハエなどの害虫の発生を防いで街を清潔にします。

③川や海がきれいに 汚れた水が川や海などに直接流れ込まなくなり、美しい水を取り戻します。

#### ④下水道を利用する皆さんへ

公共下水道に排水を流す場合は必ず使用開始の届け出を、使用を一時的に止める場合などは使用休止の届け出をしてください。

#### ⑤上下水道課下水道業務係

☎985-4126

### 平成24年就業構造基本調査

国民の普段の就業・不就業の状態を把握することで、雇用政策を始め経済政策などに必要な基礎資料を得ることを目的に、10月1日を基準日として、全国で就業構造基本調査が実施されます。8月下旬ごろから、無作為に選ばれた世帯に調査員が伺いますのでご協力をお願いします。

④財政課統計電算係 ☎985-4101

### 地籍調査成果の登記

平成22年度に現地調査を行った「筒井、浜の一部地区」の結果について、法務局から登記が完了したと通知がありました。

◆登記完了年月日 24年7月9日 ④産業課国土調査係 ☎985-4127



### 松前の防災力

防災に関する情報をお届け！ 町民総参加で松前の防災力を高めよう。

vol.05

### 防災行政無線で 緊急情報の伝達訓練をします

地震、津波、武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（J-ALERT）から送られてくる国からの緊急情報を、さまざまな情報伝達手段で確実に皆さんにお伝えできるよう、町内に設置してある防災行政無線で、緊急情報の試験放送を行います。

#### 9月12日（水）10時と10時30分ごろの2回

※当日、緊急情報が流れますが、実際の災害発生ではありませんので、ご注意ください。

④総務課危機管理係 ☎985-4103

### 「住基カード」はこんなに便利です

#### 住基カードは何に利用できるの？

- ◆公的身分証明書になります
  - ・パスポート新規発給の際
  - ・クレジットカードなどの契約の際 など
- ◆電子申請できます
  - 公的個人認証サービスを付ければインターネットを利用した電子申請(e-taxなど)が利用できます。※別にカードリーダーが必要
- ◆松前町が行う独自のサービスもあります
  - それぞれ申請をすれば、次のサービスを受けられます。
    - ・印鑑登録証として利用できます
    - ・図書館カードとして利用できます
    - ・住民票の写しや印鑑登録証明書の申請書を発行できます

#### 引っ越し後もそのまま利用できます

7月9日から、転出しても現在お持ちの住基カードがそのまま利用できるようになりました。

#### 継続利用するには

- ①転出届のとき、継続利用希望の旨を伝えてください。
- ②転入届のとき、住基カードを持参して継続利用の手続きをしてください。

※手続きの際、カード発行時に設定したパスワードが必要です。 ※公的個人認証サービスは住所変更すると失効します。 ※次の場合は継続利用ができませんのでご注意ください。

- ①転出予定日から30日を経過した場合
- ②転入してから14日以上経過して転入届を提出した場合
- ③転入日から90日を経過して住基カードを持参した場合

#### 住基カードの申請は

発行手数料 無料（25年3月29日（金）まで）  
申請に必要な物 官公署発行の写真付身分証明書＋保険証、印鑑、公的個人認証を付ける場合は500円 ※写真付身分証明書がない場合は事前にお問い合わせください。  
受付時間 平日9時～16時30分 ④町民課住民係 ☎985-4105



## 「私のごみダイエット法」募集

●募集内容  
ごみの減量のために日ごろから各家庭や各事業所などで取り組んでいることや工夫していることなど(ごみの減量例)▷生ごみは絞って水気を切ってから、ごみに出す▷マイバッグを常に持ち、レジ袋をもらわないーなど

●応募方法  
応募用紙に氏名、住所、具体的な取り組み内容とその効果を記入し、電子メール、FAX、郵送で応募してください。応募用紙は町民課窓口にあるほか、町ホームページからダウンロードできます。

●アイデアの紹介  
広報まさきやホームページに掲載させてもらうことがあります。

●締め切り  
9月28日(金)(当日消印有効)

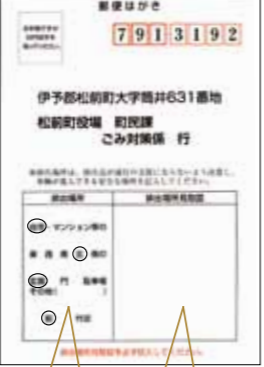
●プレゼント  
応募者の中から抽選で30人にエコバッグをプレゼントします。

●その他  
応募のあった取り組みを取材させてもらう場合もありますのでご協力をお願いします。

●応募先  
町民課ごみ対策係  
〒791-3192  
松前町大字筒井631番地  
☎985-4117  
FAX 984-8951  
✉141gomi@town.masaki.ehime.jp

## 知っていますか？ 粗大ごみの出し方

ごみカレンダーの「粗大ごみ申込はがき」で申し込みが必要です。



排出場所に○印をつけてください。排出場所は、自宅の敷地内(屋外)にしてください(ベランダ、倉庫、地域のごみステーションは不可)。見取り図には排出する位置に▲印をつけてください。

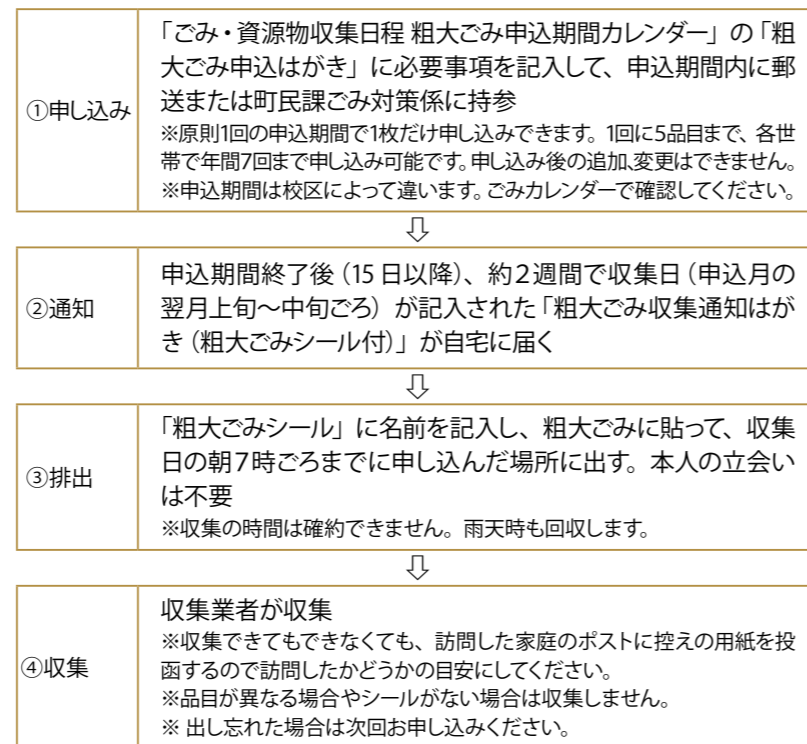
紐などでしばり、まとめられるものは「くくり」で出せます。ただし、大人が一人で運べる程度の大きさに限ります。

**(申込者)**  
フリガナ  
世帯主名: \_\_\_\_\_  
〒 \_\_\_\_\_  
住所: 松前町大字 \_\_\_\_\_  
マンション名等: \_\_\_\_\_  
自宅の電話: \_\_\_\_\_  
携帯電話等: \_\_\_\_\_  
※電話番号は必ずご記入ください。

収集申込品	備考
1. ふとん(3枚ひとくくり)	●町が収集できないものがあります。 ●申し込み後の品物の追加、変更はできませんので注意をして申し込んでください。 ●申し込みは「申込期間カレンダー」で申込期間を十分確認してから申し込んでください。
2. 衣装ケース	
3. 椅子(2脚ひとくくり)	
4. ベッド	「ベッド」と「マット」は分けて出してください。 ※スプリングマットは出せません。販売店などに相談してください。
5. マットレス	

※申込期間末日の消印有効です。  
※粗大ごみ収集申込に関する個人をはじめ関連する法令等を遵守  
※表も記入してください。

### ●粗大ごみ収集の流れ



町民課ごみ対策係 ☎985-4117

## ごみカレンダーへの有料広告募集

- ▼日時 10月17日(水)9時～
- ▼場所 松前公園多目的広場・体育館
- ▼種目 クロケット、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、卓球、バウンドテニス、ベタンク
- ※申し込みは1人1種目に限る。
- ▼参加資格 町内に在住または在勤する昭和28年4月1日以前生まれの人
- ▼申し込み方法 申込書に必要事項を記入して提出してください。
- ▼申込書配布場所・申込先 松前公園体育館、松前総合文化センター、東・西・北公民館
- ▼締め切り 9月21日(金)17時
- ☎ 985-4138
- ▼1つの申し込みで12枠まで掲載できます
- ▼広告サイズ 縦30ミリ×横80ミリ(最大)
- ▼広告掲載料 1枠2万円
- ▼申し込み方法 募集要領と松前町広告事業実施要綱を熟読して、申込書に広告原案を添えて提出してください。募集要領などはホームページからダウンロードできます。
- ▼締め切り 9月28日(金)
- ▼申込先 町民課ごみ対策係 ☎985-4117

## まさきファミリー・サポート・センター 「ma★ma・ほっと」 会員募集

子育てのSOSにお応えする会員登録制の組織です。会員同士の相互援助を有料で行っています。保育施設(保育所、幼稚園、放課後児童クラブなど)への送迎、保育施設の開始前や終了後の預かり、産前産後の援助、子どもの病気・緊急時の援助に利用できます。



★子育ての助けをしてほしい人(利用会員)  
◎対象となる子ども 0歳から小学6年生まで  
登録希望者は事務局までお問い合わせください。登録後、利用会員とサポート会員が顔合わせをして具体的な援助方法を話し合います。

★子育ての助けができる人(サポート会員)  
20歳以上で(学生を除く)子育ての援助ができる人であれば、性別、資格の有無は問いません。下記の講習を受けた後、実際のサポート活動に入ってもらいます。

サポート会員養成講座  
◎日時 9月27日(木)9時30分～16時  
◎場所 松前町総合福祉センター 2階集会室  
◎内容 ・子どものかかわり方 ・小児看護の基礎知識 ・サポート事業の心得、概要についてなど

◎申し込み  
9月1日(土)～26日(水)に電話でご予約ください。

☎まさきファミリー・サポート・センター ☎960-3269 (受付時間 平日8時30分～17時 土曜日8時30分～12時)

平成 25 年度 松前幼稚園・古城幼稚園

# 園児募集

**●入園資格**  
町内に住所があり、在住している3歳児  
(平成 21 年 4 月 2 日～22 年 4 月 1 日生まれ)  
※ 4、5 歳児入園の希望者は学校教育課へお問い合わせ  
ください。

**●定員**  
松前幼稚園 35 人、古城幼稚園 35 人  
※定員を超える場合は抽選とします。  
※現在 3、4 歳児のクラスに兄、姉がいる場合は優先します。

**●保育時間**  
・登園 8 時 30 分～9 時  
・降園 ㊶ 12 時、㊷～㊸ 14 時  
※㊷～㊸は手作りのお弁当を持たせてください。  
※親子で通園してください(駐車場少し有)。

**●入園料と授業料**  
入園料 5,000 円 授業料 6,000 円(月額)  
**●申し込み方法**  
学校教育課に入園願を提出してください(印鑑が必要)。  
入園願は町ホームページ、学校教育課、各幼稚園にあります。

**●受付期間**  
9月3日㊶～18日㊷ 8時30分～17時15分  
(㊶・㊷、㊸は除く)

**耐震工事のお知らせ**

平成 25 年度の耐震工事に伴い、保育場所が変更になります。  
《工期》 古城…4月～8月、松前…8月中旬～12月  
※変更になる場合があります。  
《保育場所》 若葉保育所

こんな子どもに育てたい  
げんきな子  
やさしい子  
のびのびあそぶ子  
人がすきな子  
豊かな心もち、健康でたくましい幼児の育成



手作りお弁当はおいしいよ



のびのびと表現しながら



思いやりの心を育む野菜作り



地域の人とふれあいなから「もちつき大会」



青々とした芝生の上で親子で遊ぼう

☎学校教育課 ☎985-4134 / 松前幼稚園(北黒田966-2) ☎984-1456 / 古城幼稚園(筒井1387-1) ☎984-2354

## 動物愛護フェスティバルえひめ 2012

日時 9月30日(日) 11時～15時30分  
場所 愛媛県動物愛護センター  
(松山市東川町乙 44 -7)  
催し物 犬のしつけ教室(模範演技・体験教室)、移動動物園、ポニーの乗馬  
体験、動物ふれあいコーナー、動物相談コーナー(しつけ、お手入れなど)など  
☎愛媛県動物愛護センター ☎977-9200

## 精神障がい者のための家族懇談会

「精神障がい者家族懇談会」を  
開催します。  
講師の講話で学ぶだけでなく、  
参加者同士の経験を伝え合っ  
たり、気持ち共有したりする場  
です。病気のことや生活について、  
家族だけで抱え込まず、参加者全  
体で話し合います。新規参加  
希望者はご連絡ください。  
☎健康課保健センター係  
☎985-4118

日程	内容	場所
9/26 ㊶ 午後	学習会「幻聴・妄想への 理解を深めよう」 講師：精神保健福祉士	松前町総合 福祉センター
11/2 ㊷ 午後	講話「じょうずな対応」 講師：医師	中山保健セン ター
1/31 ㊸ 午後	講話と演習「自分の宝箱 を見てみよう」 医師：産業カウンセラー	伊予市保健 センター
3月 予定	講話「病気の理解につ いて」 講師：医師	松前町総合 福祉センター

フリーマーケット出店者  
▼日時 10月28日(日) 10時～16時  
▼場所 松前公園体育館西側広場  
▼資格 町内在住で個人かグル  
ープによる出店(業者は不可)  
▼参加費 無料  
▼出店品 家庭の余剰品、リサイ  
クル製品、手づくり品など(飲  
食物、動物は不可)  
▼締め切り 9月26日(水)  
▼申し込み方法 はがきに住所、  
氏名(グループの場合はグルー  
プ名と代表者名)、電話番号を記入

してお申し込みください。  
獅子舞競演会  
▼日時 10月27日(土) 11時  
▼場所 役場前特設舞台  
▼資格 各分館の獅子舞保存会  
▼締め切り 9月26日(水)  
▼申し込み方法 はがきまたは電  
話で、住所、団体名、代表者名、電  
話番号をお知らせください。  
▼共通申込先 〒791-3192  
松前町大字筒井633番地  
松前総合文化センター  
☎985-4139

## まさき文化祭 参加者募集

## 飼い主の責任を考えよう

9月20日～26日は動物愛護週間

日本では3世帯に1世帯が犬や猫  
などのペットを飼っています。その一  
方で、ペットをめぐって周囲とトラブ  
ルになったり、飼い主の事情でペット  
が飼えなくなったりするケースも少な  
くありません。飼い主の責任をもう一  
度考えてみましょう。

### 周囲の人に迷惑をかけるのは ペットの責任?

ペットのトラブルは、実は飼い主  
のしつけ、マナーやモラルの問題  
です。「犬の無駄吠え」はしつけで  
改善できます。「糞尿の始末をする」  
「放し飼いにしない」といったこと  
は、動物を飼うときの基本的なマ  
ナーです。自分とペットだけでは  
なく、周囲の人に迷惑をかけない  
ようにすることが必要です。

- 犬を飼うとき
- 犬の居場所は、犬にとって快適な場所を選ぶ  
暑さ・寒さ対策、犬小屋の周囲を常に清潔に
  - 隣家との境界付近に犬小屋を置かないなど隣人に配慮する
  - 外部の刺激で吠えるような場合、原因を調べて対策をとる  
外を人が通るのが気になる場合は、犬の居場所を移したり、植え込みを作ったりする  
特定のものに吠えるなら遠ざけるなど
  - 散歩や犬と遊ぶ時間をつくるなど、コミュニケーションをとる
  - 鎖につなぐときは、動きを制限しないようにし、長時間つないだままにしない、  
周りのものが倒れるようなところにはつながない

- 猫を飼うとき
- 室内で飼うのが基本です。猫を飼うときは次のものを用意しましょう。  
寝床 体がすっぽり入る程の市販のハウス、段ボール箱にタオルなどをしく  
トイレ 市販の猫用トイレに猫用砂を入れたものを用意し、常に清潔にする  
つめとぎ つめをとぐのは猫の習性の一つ。専用のつめとぎを用意する  
首輪と迷子札など 迷子になったときのために連絡先を書いた首輪などを付ける  
遊び場 上下運動を好むのでキャットタワーなど高低差のあるものを上手に使う

☎町民課生活環境係 ☎985-4117

▼日時 10月18日(木)、12月27日(木)、平成25年2月21日(木) 13時30分～16時30分

▼場所 松山公共職業安定所3階

### 相談

多重債務者無料相談会

自衛官  
看護学生、防衛大学校学生(一般前期)、防衛医科大学校学生を募集します。受付期間は9月3日(月)～10月1日(月)。募集要項など詳しくはお問い合わせください。

☎ 947-3040

募集  
第33回町民俳句大会

▼日時 10月21日(日) 10時～

▼場所 松前総合文化センター

▼投句募集  
▼投句期間 9月1日(土)～30日(日)

▼投句場所 東・西・北公民館

☎ 984-3604

## 消費力アップ通信

複数の業者による勧誘「劇場型投資勧誘」に注意！

### 相談事例

突然、A社から会社案内や株式転換社債申込書が入った封書が届いた。翌日、B社から「選ばれた人しか買えない社債だ。購入したら額面の倍額で買い取る。」と電話があったので、購入した。しかし、その後買い取り業者B社と連絡がつかなくなった。

### アドバイス

- 「絶対に儲かる」などといったうまい投資話を信じてはいけません。きっぱりと断りましょう。
- 一度お金を払ってしまうと、取り戻すのは極めて困難です。
- 過去に被害に遭われた人は、被害回復をうたった二次被害にも注意しましょう。

### 安心して役場の相談窓口にご相談ください！

相談は秘密厳守。匿名でも相談できます。情報提供も受付中です。

- ▷消費者ホットライン ☎ 0570-064-370
- ▷消費生活相談窓口(産業課内) ☎ 985-4120

毎週火曜日は専門の相談員が対応します。

大会議室(松山市六軒家町3-27)

▼相談員 弁護士か司法書士、補助職員

▼申込方法 開催日の1か月前から受付。平日8時30分～17時15分の間で、電話予約してください。

☎ 926-2603

愛媛県消費生活センター

### 国税に関する相談

国税に関する電話相談、面接相談を受け付けています。

電話相談

▼利用方法 自動音声案内に従い、「1」番を選択してください。国税局「電話相談センター」の税務相談官が相談を受け付けます。

▼面接相談

▼利用方法 自動音声案内に従い、「2」番を選択し、担当職員に住所・氏名・相談内容を伝え、相談日時を予約してください。

☎ 941-9121

松山税務署(自動音声案内)

## C型肝炎ウイルス感染者への給付金

出産や手術における大量出血などの際に特定の血液製剤を投与されたことによって、C型肝炎ウイルスに感染された人に、給付金を支給する仕組みがあります。平成25年1月15日④までに請求手続きを行ってください。

☎ 厚生労働省相談窓口 ☎ 0120-509-002 (平日9時30分～18時まで)

## 消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

## 応急手当の重要性

9月9日が何の日か知っていますか？  
9(きゅう)と9(きゅう)で「救急の日」です。  
昭和57年、救急医療と救急業務について国民の正しい理解・認識を深め、救急業務従事者の意識を高めるために制定されました。この機会に応急手当の重要性を再認識しましょう。

### Q1.救急車の到着時間は？

A.松前町では、皆さんが119番してから救急車が到着するまで平均約6分(全国平均は約8分)。平成23年中の救急出場件数は1227件で、10年前に比べると約300件増加しています。

### Q2.なぜ救命処置が必要な？

A.一般的に、心臓が止まると15秒以内に意識を失い、3～4分以上そのままの状態が続くと脳の回復は困難になります。心臓が止まっている間、心肺蘇生法(胸骨圧迫と人工呼吸)によって心臓や脳に血液を送り続けることは、AEDによる心拍再開の効果を高めるためにも、心拍再開後の脳に後遺症を残さないためにも重要です。

### Q3.救命の可能性と時間経過の関係は？

A.心臓と呼吸が止まってから時間経過とともに救命の可能性は急激に低下しますが、救急隊到着までに居合わせた人が救命処置を行うことで、救命の可能性が2倍程度保たれることが分かっています。

### Q4.救命処置法が分からないときは？

A.119番通報を行った際に電話を通して心肺蘇生法の指導を受けることもできますが、効果的な

処置を行うためには、救命講習を受け知識・技術を習得しておくことをおすすめします。消防署で行っている主な講習は次のとおりです。

講習名	時間	内容
救命入門コース	90分	胸骨圧迫やAED使用方法を中心に学ぶコース
普通救命講習	3時間	心肺蘇生法(胸骨圧迫と人工呼吸)やAED、異物除去、止血法
上級救命講習	8時間	普通救命講習の内容に加えて傷病者管理、怪我の応急手当、搬送法

### Q5.受講するには？

A.手順としては、松前消防署に電話→日時決定→申込書類提出→講習(無料)となります。  
講習場所…町内であれば希望する場所が可能です。申請すれば消防署内施設を利用(無料)することもできます。  
講習対象者…原則、町内に在住、在勤、通学している人と在籍する団体です。  
まずは、お気軽に松前消防署救急担当(☎984-3404)へお問い合わせください。

### 安心・安全で温かな社会を作るため 心肺蘇生法を学んでください！

昨年、心肺蘇生法の内容に少し変更がありました(これまでの救命処置の方法を否定するものではなく、より良い方法を推奨しているものです)。消防署では、以前配布していたテキストの内容を変更して救命講習会を実施しています。以前に受講した人も、この機会に再度講習会を受講してみませんか？







6月29日、地域の人とさまざまな体験活動を行い、子どもの安全な居場所づくりを進めて行く、放課後子ども教室の開講式を行いました。  
7月6日の学習「夏の生き物の観察」では、31人の子どもたちが参加し、学習アドバイザーが採ってきた、こうもり、田んぼや池などの生き物に、直接触れて観察をしました。  
こうもりを籠から放つと教室一杯飛び回り、皆キーンキーンと大騒ぎになりましたが、中にはこうもりを家に持ち帰る子どももいました。  
全28回の学習は、積み木遊び、たこ作り、おむすびやおやつ作りなどバラエティに富んだ内容となっています。子どもたちの笑顔のためにがんばりたいと思います。

**東公民館**

神崎210  
☎984-11159

放課後子ども教室

おはなしかい

日時 9月22日(土) 11時  
場所 文化センター2階 第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなどを使って毎回楽しいおはなしをします。皆さん、ぜひ来てみてください。

9月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時  
○休館日 9月30日(日)

- 9月の新刊
- ◆続・悩む力/姜 高中
  - ◆ひなこまち/島中 恵
  - ◆清洲会議/三谷 幸喜
  - ◆ケルベロスの肖像/海堂 尊
  - ◆サラダ好きのライオン/村上 春樹
  - ◆重力とは何か/大栗 博司
  - ◆ミツカン社員のお酢レシピ/ミツカン
  - ◆ふくろう/梶 よう子
- ※この他にもたくさんのお本が入っています。

図書館

筒井633  
☎985-4140

松前町ふるさとライブラリー



「この地のぬくもりに子らは育つ」新成小学校の閉校記念碑と銀杏の大き木を迎えられて、7月21・22日の2日間、新宮少年自然の家でキャンプ生活が始まりました。小・中学生、保護者、愛護部役員合わせて総勢119人の参加です。  
異年齢の15班編成で、さまざまな活動をしました。昼間は川遊び、カレー作り。夜は、キャンプファイヤー、花火大会、そして歓声・泣き声の飛び交った肝試しなどをして楽しみました。特に今年度は、58人の中学生の参加があり、各班のリーダーとして小中学生に優しく教えながら、自主的に活動する姿が多く見られました。  
愛護部役員をはじめ、お世話いただいたすべての皆さん、本当にありがとうございました。

**西公民館**

北黒田966-2  
☎984-5313

愛護部キャンプ

一般書

**歌え!多摩川高校合唱部**  
本田 有明 著 / 河出書房新社

混声合唱なのに男子が4人しか残らなかった多摩川合唱部。そこへ“元気が取り柄”の新入部員が押し寄せて…。Nコン第70回大会に向けて奮闘した実話にもとづく小説。

道しるべ  
瀬戸内 寂聴 著 / 講談社

作家であり住職である瀬戸内寂聴が次世代を担う若者に熱く語る生き方指南。「常識を疑え」「挑戦する勇氣を持って」「愛するために生きよ」といった珠玉の言葉が満載。

一般書

**やりたいことは二度寝だけ**  
津村 記久子 著 / 講談社

検索が生きがい。文房具集めとハーブティーで日々を潤し、ドラクエで自分の20年を振り返る…。庶民系芥川作家・津村記久子による“地味面白い”エッセイ集。

児童書

**大接近!妖怪図鑑**  
軽部 武宏 作 / あかね書房

唐傘小僧、ぬらりひょん、毛羽毛現、海和尚…。有名な妖怪からめずらしい妖怪まで、22の妖怪を迫力あるタッチで描き、大きさや特徴などを説明します。両開きページあり。



6月25日～7月10日、「分館家庭教育学級(愛護部巡回学習会)」を開催しました。昨年度に比べて参加人数が増えた分館が多く、愛護部や分館役員関係者の興味の高さがうかがわれました。  
その中で上映した『ゲータイトラブル』では、「掲示板の罠」「学校裏サイトの罠」「プロフィール(自己紹介サイト)の罠」の事例を紹介していました。携帯電話がもたらす危険の大きさ、その陰に潜む家庭・学校における人間関係、親子関係のあり方などが重要であることに、参加者一同が改めて認識するよい学びの機会となりました。  
子どもたちを犯罪者・被害者にしてしまわないように、地域の皆様と共に寄り添い見守っていきたいと思います。

**北公民館**

昌農内456-1  
☎984-7529

分館家庭教育学級

アルツハイマー型認知症の初期は、家族のケアで対応できますが、症状が重くなると対応できなくなります。問題を抱えこまず、医療機関や介護事業所と相談して認知ケアをしましょう。

③介護ケア 慣れ親しんだ環境で、安全に質の高い生活を送るための生活環境の整備や介護保険サービスの活用

音楽療法：音楽を聴く、歌う、演奏すること  
とで脳を活性化

芸術療法：絵画、陶芸、俳句など表現すること  
ことで不安や抑圧を解消

◆アルツハイマー型認知症ケア3つの柱

- ①薬物療法 「もの忘れ」の進行を遅らせる、行動・心理症状を抑える
- ②非薬物療法 脳の活性化を行い、残っている認知機能や生活能力を高める
- (例) 回想法：昔の写真や映像で、懐かしい思い出を語ることで脳を活性化

芸術療法：絵画、陶芸、俳句など表現すること  
ことで不安や抑圧を解消

音楽療法：音楽を聴く、歌う、演奏すること  
とで脳を活性化

包括支援

筒井710-1  
☎985-4205

松前町地域包括支援センター

## ふるさと歴史散歩 88

～松前史談会レポート～

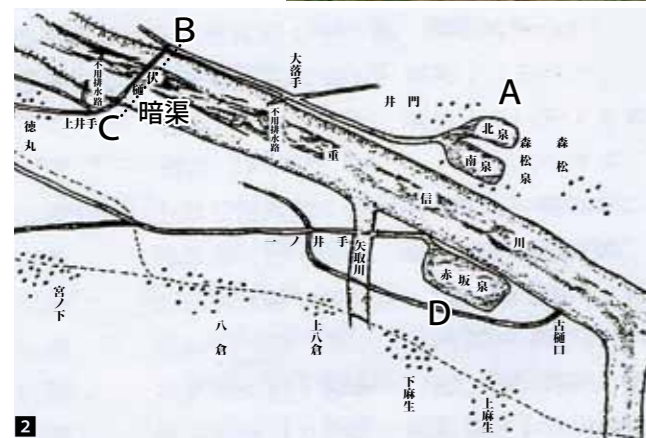
### 松前町の水源地・泉めぐりII

徳丸村の上井手は中川原村の横井出堀と同様、重信川を横断する掘り割りした水路を通過して、対岸の大落手からの用水を流していたが、森松村に新しく北泉(1724年)を、隣接する新泉(南泉・1575年)を開設した。これにより、その後、大落手の水利権を返上しても水田用水を確保できた。二つの泉は夫婦泉(森松泉)と称し、国道11号重信大橋の近くにある。

横断水路は、一雨あれば流失・破損し、その復旧には多くの労力と費用を要した。掘割改修の負担から解放される悲願の暗渠埋設は、昭和3(1928)年であった。昭和20年代の改修、その後の再改修を経て、恩恵は現在に至っている。高忍比売神社の暗渠埋設記念碑(水野広徳撰文)には、その規模も詳述されているが、かたわらにある記念の鉄筋入りの埋設管が雄弁に物語っている。

町内にあった泉の多くが今はないが、環境・景観面に限らず、泉や水路は現在も大きな役割を果たすとともに、先人の努力の証である。森松泉、赤坂泉、ひよこたん池、有明泉、福德泉だけでなく、町内に残る小さな泉も大切にしたいと思う。

- 1 砥部町八倉にある受水口(C地点)。重信川の暗渠を通過してきた水をここで受け取り徳丸へ送る
- 2 A地点：森松の夫婦泉(北泉と南泉)  
B地点：送水口  
C地点：受水口  
D地点：赤坂泉



9月のふるさと歴史散歩は、「南黒田1番地」を訪ねる。8時30分、庁舎南駐車場出発。現地集合(南黒田集会所) 歓迎。

松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

## Boys&Girls, Be Ambitious!

頑張る子どもたちを紹介します



### 琉球國祭り太鼓に夢中です

新倉美桜 ちゃん Shinkura Mio  
村上菜々子 ちゃん Murakami Nanako  
北伊予小4年・神崎 北伊予小5年・中川原

沖縄のエイサーをベースに、空手の型を取り入れた独自の振り付けとダイナミックなバチさばきが特徴の「琉球國祭り太鼓」。この太鼓に魅せられ、練習に励んでいるのが北伊予小学校4年生の新倉美桜ちゃんと5年生の村上菜々子ちゃんです。ともに琉球國祭り太鼓愛媛支部に所属し、週1回、松山市総合福祉センターでの練習に参加しています。

先に始めたのは美桜ちゃん。母・由加さんが参加していたことがきっかけでした。「初めて見たときからわくわくしました。すごく楽しい」と言葉を弾ませます。菜々子ちゃんも曲をどんどん覚えていくのがおもしろいと、二人そろって太鼓の楽しさにはまっている様子。

二人が今頑張っていることは「声出し」。太鼓の大きな音に消されてしまわないよう、精一杯「イヤーサーサー」などと声を出すようにしています。目標は「イベントに出られるようになりたいです」と菜々子ちゃん。美桜ちゃんは「デイサービス施設で演奏することが多いので、お年寄りの人を楽しんでもらえるようになりたい」と瞳を輝かせていました。

## 1歳です。よろしくね

かとう みづき  
加藤 美月 ちゃん  
中川原  
平成23年9月17日生  
(父)幸二さん(母)弥生さん  
1歳おめでとう!お姉ちゃんとたくさん遊ぼうね。



たなか ゆうと  
田中 祐翔 くん  
北黒田  
平成23年9月12日生  
(父)崇さん(母)弥千代さん  
祐ちゃんいつも笑顔をありがとう!元気に育ってね!



いけだ いのり  
池田 禱 くん  
鶴吉  
平成23年9月6日生  
(父)太さん(母)佳菜さん  
いのりさんらしくマイペースでいこうね♡



みねひら えいと  
峰平 瑛仁 くん  
南黒田  
平成23年9月12日生  
(父)幸一さん(母)千晶さん  
瑛仁くん1歳おめでとう♡たくましい男の子になってね!

11月に1歳になるお子さん募集

背景が明るい横長の写真(デジタルデータも可)を持参してください。\*先着6人です。  
募集期間 9月3日(日)～9月18日(日) 総務課広報情報係 ☎ 985-4132

### おうちで給食

#### recipe 47 若鶏のカシューナッツ炒め



【エネルギー 175kcal】

●材料● (4人分) ●作り方●

- 若鶏ささみ……150g
  - しょうゆ……小さじ1
  - 酒……小さじ1
  - でんぷん……20g
  - 揚げ油……適量
  - カシューナッツ……40g
  - タケノコ……80g
  - ニンジン……25g
  - 長ねぎ……15g
  - しょうが……3g
  - サラダ油……小さじ1
  - 砂糖……小さじ2
  - しょうゆ……小さじ2
  - 酒……小さじ1
- 1 ささみは一口大に切り、しょうゆ・酒で下味をつける。
  - 2 長ねぎは小口切り、しょうがはみじん切りにする。
  - 3 タケノコとニンジンはちよう切りにし、ゆでる。
  - 4 カシューナッツは低温の油で素揚げする。ささみはでんぷんをつけて揚げる。
  - 5 サラダ油を熱し、長ねぎ・しょうがを炒める。
  - 6 3を加えて炒め、Aの調味料を入れる。
  - 7 4を加え、混ぜ合わせて仕上げる。

# 行 っ て こー わ い 会 っ て こー わ い

## 「げんキッズクラブ」

体を動かすことの楽しさを  
感じてほしい

No. 48

松前総合文化センターのリハーサル室に入ると、すぐに目に飛び込んでくる子どもたちの元気なダンスと笑顔。その正体は「げんキッズクラブ」の皆さんです。

「体を動かすことが好きな人が集まって、とにかく楽しく運動することを目的に活動しています」と話すのは上之園亜佐子代表＝南黒田＝。昔に比べて子どもたちの遊び場が減り、体を動かすことが少なくなったと感じ、平成17年に同クラブを結成。3歳から12歳までの子どもを対象に松前と松山で教室を開催しています。

現在会員は約50人。松山まつりの野球サンバなどのイベントに参加したり、年に1度クラブ内で発表会を開催して練習の成果を披露したりしています。ダンスの演出も全て上之園さんが手掛けます。「体を動かすことの楽しさを見ている人にも感じてほしい。今後、日本こどもフィットネス協会が主催している地区大会や全国大会にも出場できれば」と笑顔を見せます。

松前小3年の小手川志歩ちゃんは「もともとダンスが好きだったけど、先生が優しく教えてくれるのもっと好きになりました。サンバや発表会を頑張りたいです」と話していました。



1 野球サンバの練習に汗を流すメンバー  
2 AKB48の『フライングゲット』を練習中

メンバー募集中  
問い合わせ先 上之園  
☎ 985-4663

### ▼編集後記

町内一の健康長寿者だった池内イワノさん。107歳という天寿を全うし、今年のお盆、眠るようにこの世を去りました。生前は女性の社会参加や地位向上に取り組んでこられ、いくつになっても心配りを忘れず、おしゃやれで、私たちに健やかに生きることをすばらしさを教えてくれました。イワノさんの生き方を見習いたいです。(高橋)

もうすぐ夏が終わろうとしています。今年の夏は、伊方原発停止の関係で、節電要請が高まっていました。が、何とか乗り切れそうです。ただこれで心配なのは、何でも簡単に、大丈夫だと思ってしまう意識。電気があるのは「当たり前」だけど、「無限にあつて当たり前」ではありません。何でもそう。体調を崩すほど節約する必要はないけれど、まずは、意識改革から始めませんか。(松田)



### 「おたたさんで交通茶屋」

秋の全国交通安全運動(9月21日～30日)に合わせ、「第4回おたたさんで交通茶屋」を開催します。

◆日時 9月22日(土) 11時～ ◆場所 エミフルMASAKI グリーンコート  
◆内容 NPO法人Museの松山大学生が作成した交通事故マップや交通安全グッズの配布、パトカーや白バイの試乗、愛媛県警察本部音楽隊の演奏(オープニングイベント)

☎町民課コミュニティ係 ☎985-4228

